創立60周年記念

目で見る 大阪旭こども病院

Osaka Asahi Children's Hospital

《10年のあゆみ》



あさひで輝くこどもの笑顔



社会医療法人 真美会
大阪旭こども病院

院長あいさつ



当院は1966年に創設された、日本で最初の民間小児病院です。皆様のおかげをもちまして、2026年10月に創立60周年を迎えることができました。創立以来、単にこどもたちの病気を治すだけではなく、いつも「何がこどもにとって一番大切か」を考えて、身体的、心理的、社会的な面から最善の医療を提供できるように頑張ってまりました。その努力が認められて、2009年には「社会医療法人」に、2022年には「大阪府小児地域医療センター」の指定を受けました。全国でも数少ない「民間小児病院」として、もっと私たちのことを知っていただきたいと思い、この冊子を作成いたしました。我が国で少子化が進む中、こどもたちを取り巻く環境も大きく変わってきています。今後も「誰よりもこどもの味方」であることを目指して、「病院の敷居は低く、医療の質は高く」をモットーに職員一同頑張ってまいります。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

院長 荒木　敦

患者数の動き

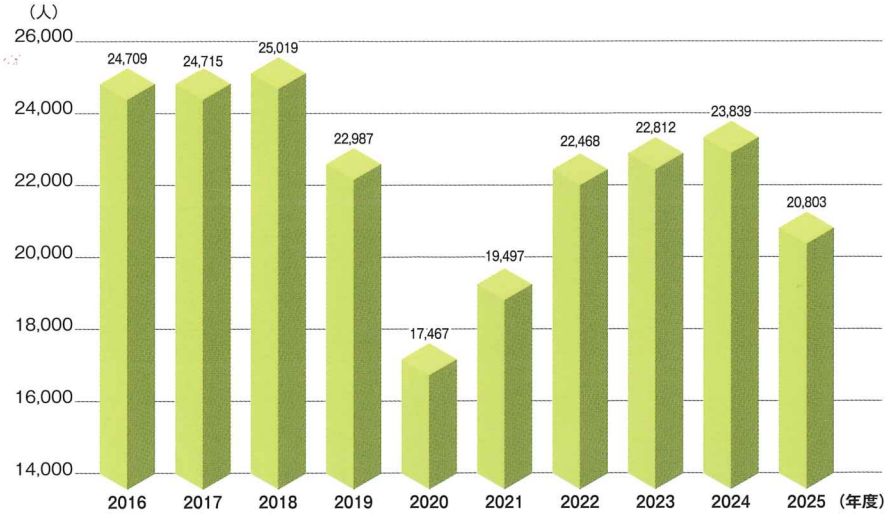
入院(在院)患者数



2階病棟

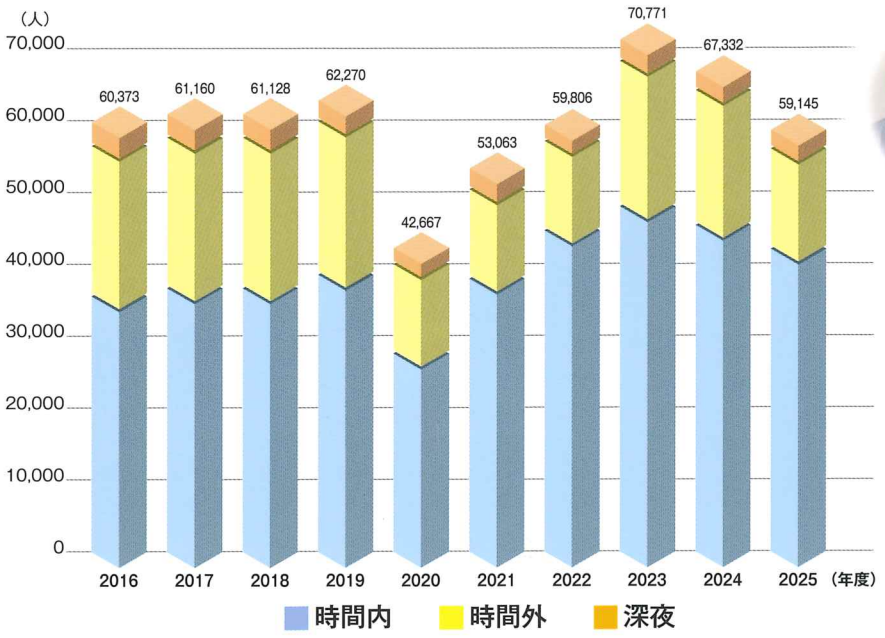


3階病棟



2020年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行期になり患者数は入院、外来とも大幅に減少したが、その後は回復傾向にある。流行する感染症の違いで年度ごとの患者数には増減がみられる。

外来患者数(来院時間別)



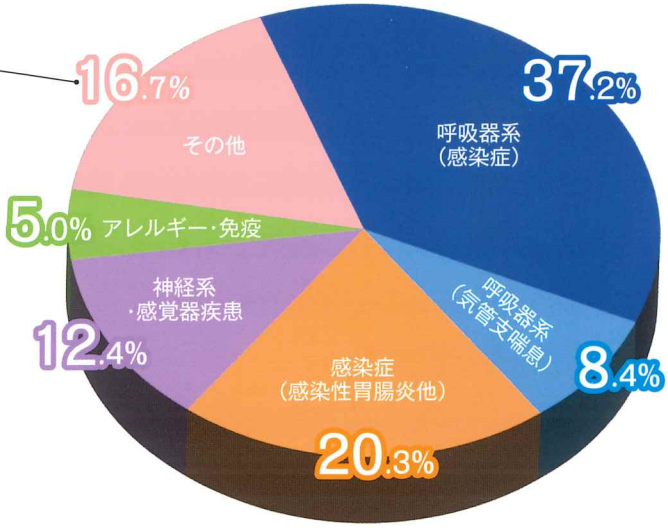


看護助手



2025年度 入院患者疾患別統計

結合織疾患(川崎病)	3.8 %
泌尿生殖器疾患	3.0 %
皮膚・皮下組織疾患	1.9 %
周産期疾患・先天異常	1.9 %
損傷・中毒	1.9 %
内分泌代謝疾患・栄養障害	1.5 %
消化器系疾患	1.4 %
その他	1,2 %



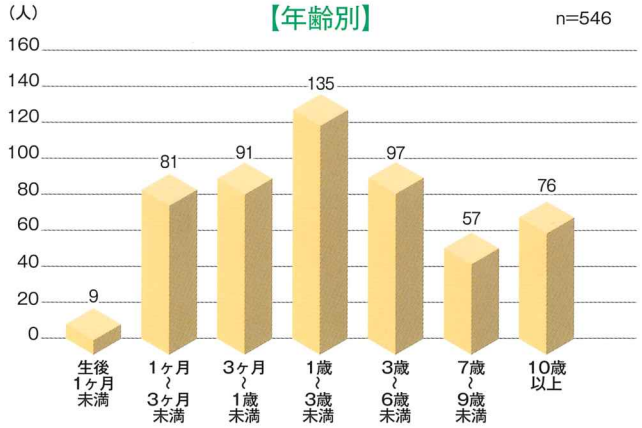

医師、医療秘書

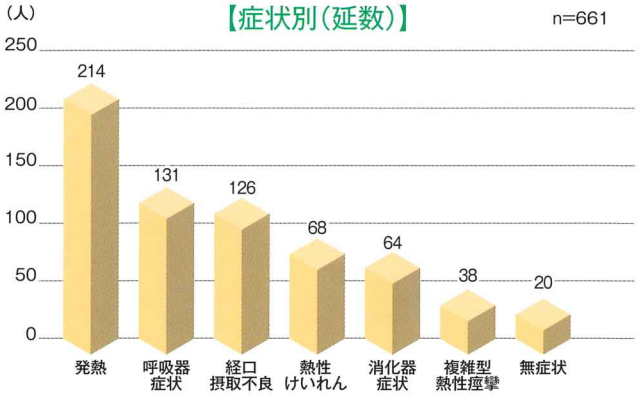
入院患者疾患別統計は、退院時の主病名をICD10分類で行っている。毎年、呼吸器系疾患が最も多く、次いで感染性胃腸炎等の感染症が多い。

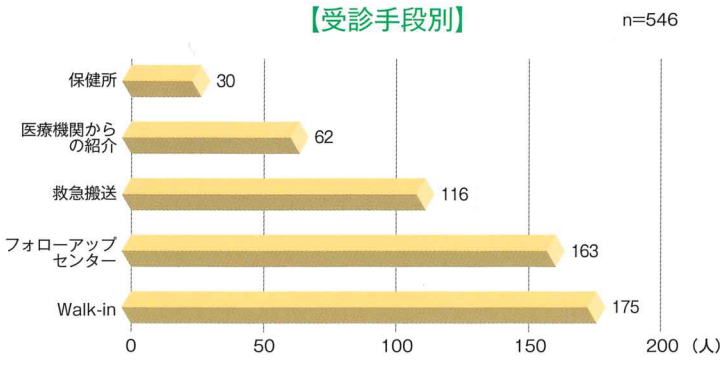
神経系・感覚器疾患では熱性けいれんが最も多く、インフルエンザによる熱性けいれんを含めると、けいれんは神経系・感覚器疾患の約6割を占めている。



COVID-19入院患者の実態







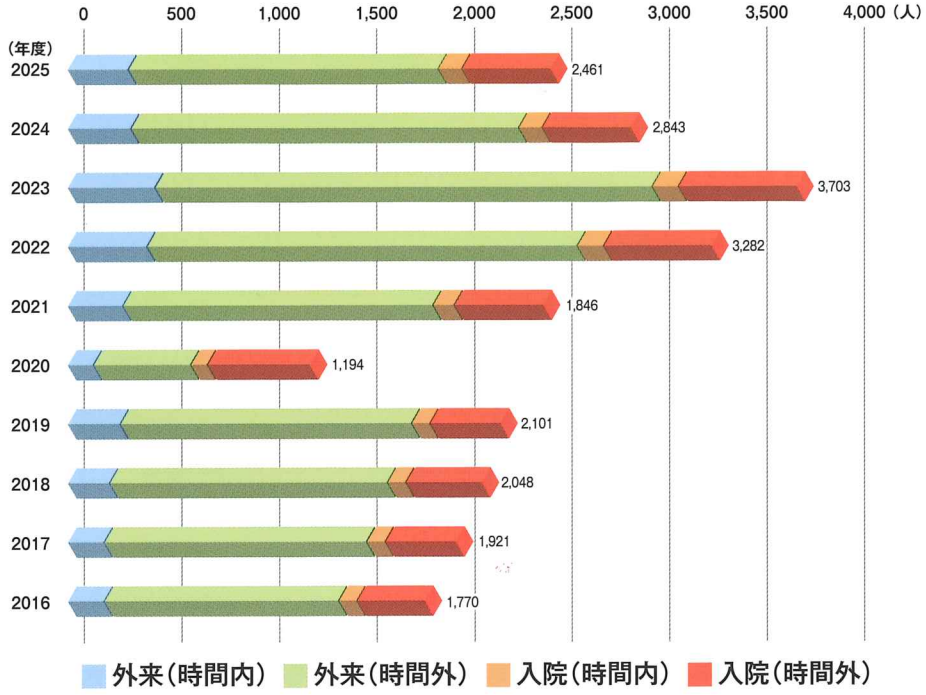
COVID-19については 2020年9月から5類に移行する2023年5月までの期間に546人の入院患者を受け入れた。このうち約60%は3歳未満であり、発熱や呼吸器症状、熱性けいれんなど多様な症状を呈していた。重複感染例や、酸素療法・ネーザルハイフロー管理を要する重症例も経験した。

この間、感染対策や診療体制が大きく変化するなかで、多職種がそれぞれの専門性を発揮し、連携しながらこどもと家族を支え、安全な医療の提供に努めた。その結果、院内でクラスターの発生は一度も認めなかった。

未知の感染症への対応、付き添いなしの入院、厳重な隔離環境という厳しい状況下であっても、こどもたちとのスキンシップを大切にし、安心して過ごせるようケアを積み重ねてきた。これらの経験を活かし、今後もより質の高い医療の提供に繋げていきたい。

救急医療

救急搬送数

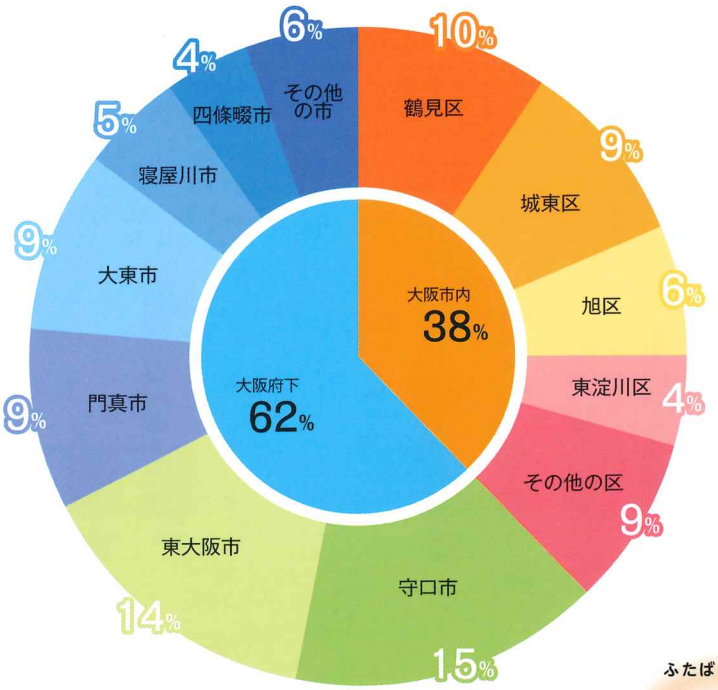




救急患者の受入れについては、COVID-19感染拡大期の2020年度が最も少なく、その後は格段に増加した。
なかでも2023年度に3,703台とピークを迎え、その後は落ち着いている。
住所地別では大阪市内では鶴見区、城東区、旭区で全体の25%を占める。大阪市以外の大阪府下では守口市、東大阪市、門真市、大東市の近隣市で5割近くになる。

住所地別救急搬送








外来看護師



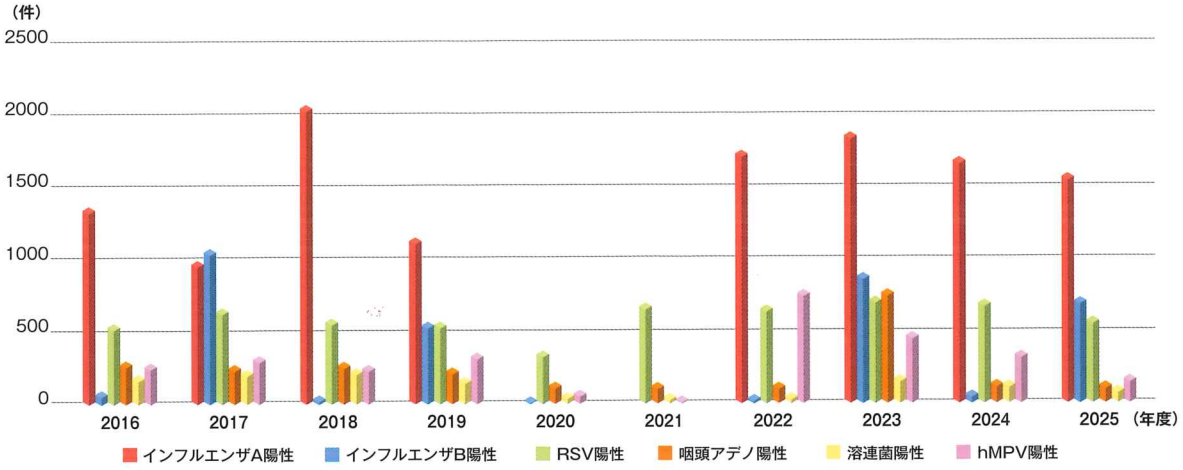
医療情報統計

COVID-19感染拡大期には感染拡大防止対策が徹底された結果、他の疾患の感染も抑制された。当院で行っている各種抗原検査の陽性数のなかから呼吸器抗原検査と便抗原検査の感染症抗原検査の陽性数を示す。



臨床検査科

呼吸器抗原検査 陽性数

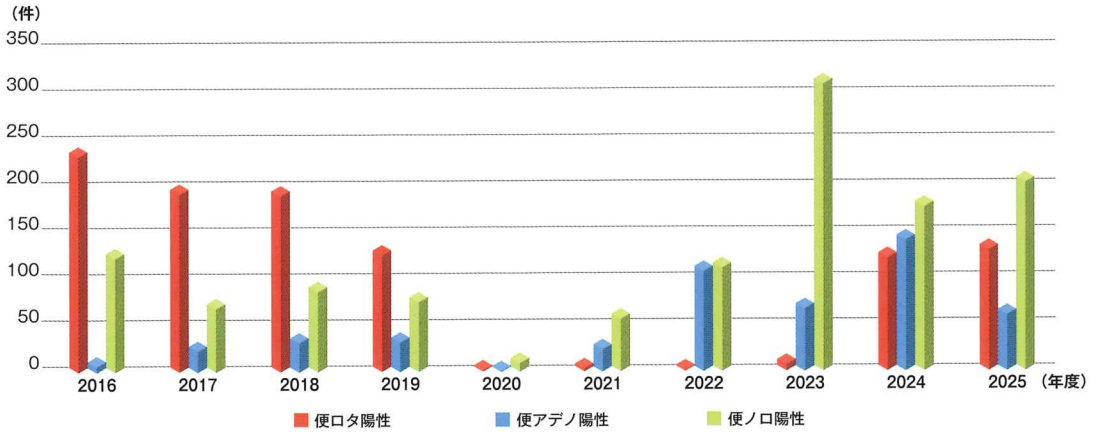


呼吸器関連検体における迅速抗原検査の陽性数を示す。
COVID-19感染拡大防止対策ですべての陽性数は激減した。「まん延防止等重点措置」が解除となった2022年3月21日までRSウイルス以外は大きな流行はなかったが、その後にすべての項目で陽性数は増加した。




薬剤科

便抗原検査 陽性数

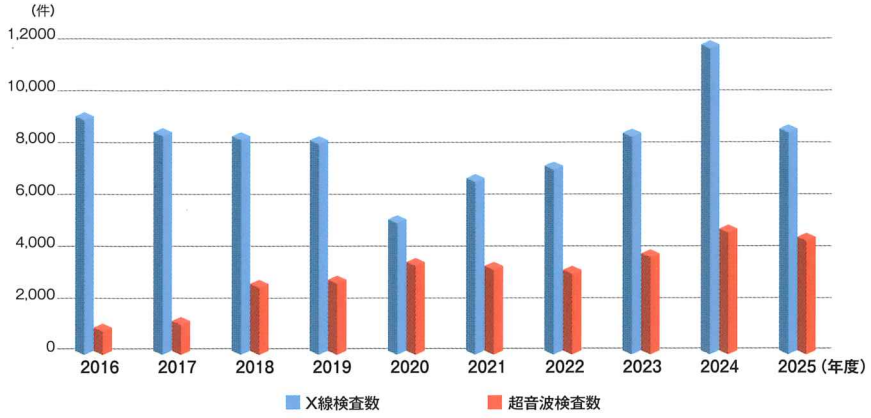


便検体における迅速抗原検査の陽性数を示す。
呼吸器関連検査と同様にCOVID-19感染拡大期以降、陽性数は激減した。
「まん延防止等重点措置」が解除となった2022年3月21日以降、すべての項目で陽性数は増加した。

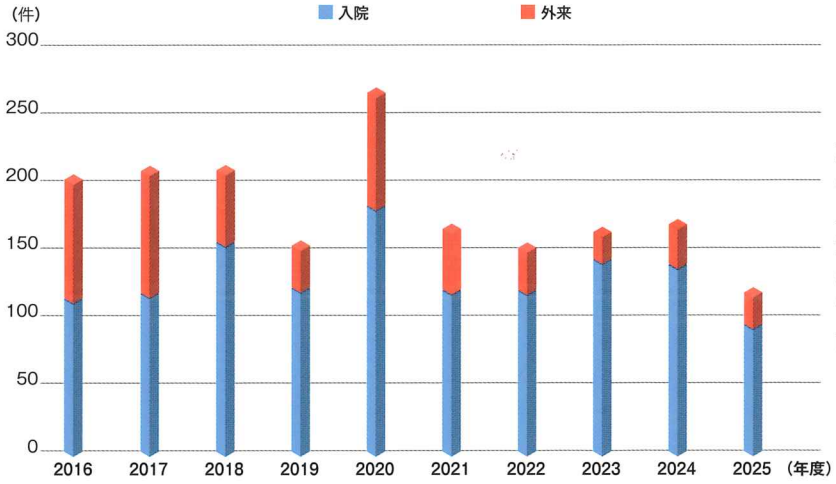
X線検査と超音波検査

2020年度はCOVID-19の影響で患者数とともに検査数も大幅に減少した。
2024年度はマイコプラズマ感染症の大流行があり、胸部エックス線検査が増加した。


診療放射線科



栄養食事指導件数

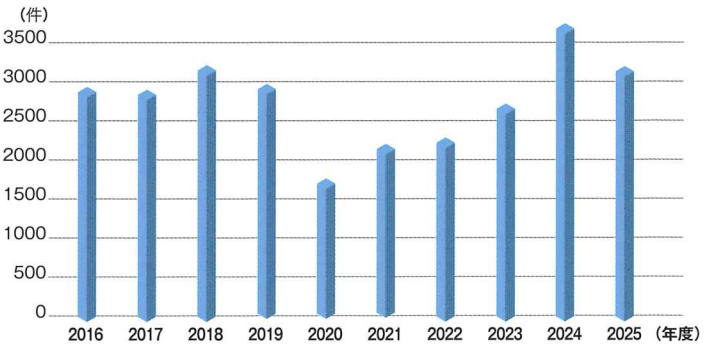


栄養食事指導件数は、2015年度以前の10年間は月平均20件で推移していたが、その後の10年間は月15件程度まで減少していた。内訳では貧血や食物アレルギーに関する外来指導が減少傾向にあった。一方で、それまで年間10件未満であった小児肥満への指導は2020年度以降は年間15件まで増加していた。こうした変化の背景には、COVID-19流行に伴う行動制限があり、子どもたちの運動習慣や生活習慣に大きな影響を与えた可能性がある。



地域との繋がり

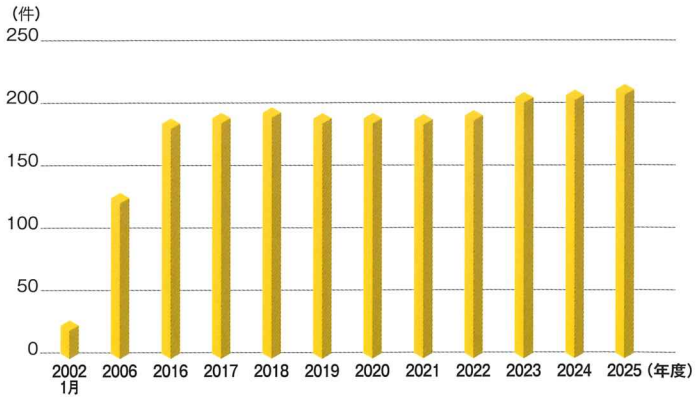
紹介件数



2025年度の紹介件数は3,150件であった。2020年度はCOVID-19の流行による受診控えに伴い、患者数と共に紹介件数も減少した。その後、2024年度は過去最高の3,706件となった。


地域連携室

登録医数

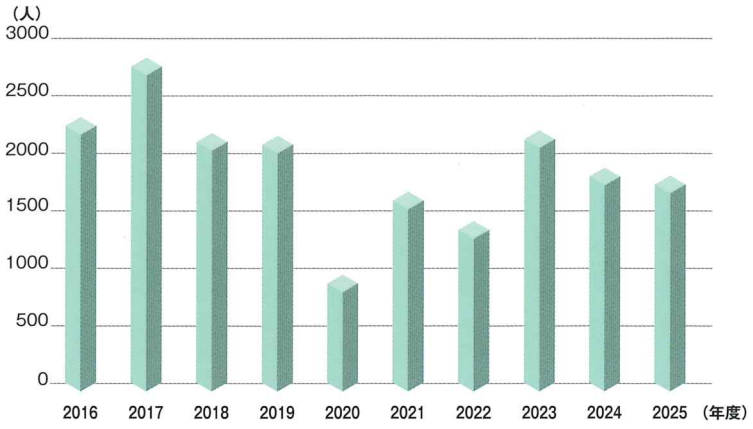


2002年1月に開放型病院の許可を受けた(登録医22名)。2006年には登録医125名に増加し、2026年6月現在、登録医は217名、医療機関は205機関となった。

最近では開業されるクリニックから登録医に関する問い合わせがあり登録医となるケースが多く、地域医療連携が浸透していることを実感している。

また、2006年から「中野こども医療学会」一現「地域連携懇話会」一を開催し、顔の見える関係を作ることに努めている。

病児保育 利用者数



病児保育事業は、1994年からスタートし、1999年からは大阪市委託事業となった。病児保育は親の就労支援だけでなく、こどもにとって病気のときでも保育を受ける基本的人権を保障するものである。

2015年度から定員が12名になり利用者は増加した。コロナ禍を経て利用者は減少傾向であるが、多様な働き方や職場の理解の影響が大きいと思われる。また、大阪市の施策の充実により病児保育室の増設がみられ利用できる事業者の選択肢が増えたことで、2023年度以降、利用者数はやや減少傾向となっている。



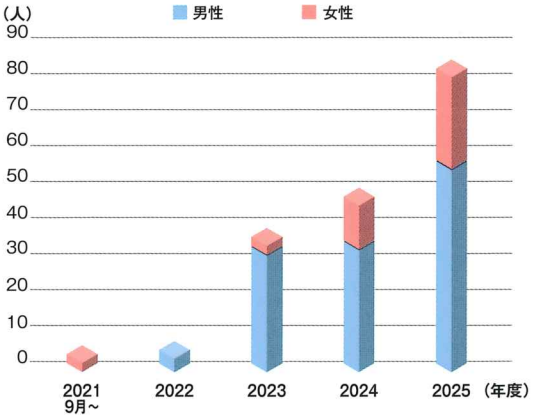
医療保育室

旭区協定枠での発達相談件数

当院は、2021年2月に旭区役所及び旭区社会福祉協議会との間で「あさひ子育て地域包括連携協定」を締結し、地域住民に向けた包括的な育児支援を行っている。その一環として心理士は、保護者の同意を得た上で、区の保健福祉センター・家庭児童相談室と連携して情報共有を行い、地域の子ども達の発達を支援する取り組み(「旭区協定枠での発達相談」)を行っている。当初は対象症例を絞り慎重に連携を進めていたが、2023年度以降は連携体制が定着・軌道に乗り相談件数が大幅に増加した。



公認心理師



研修医・臨地実習生の受入れ



少子化が急速に進むなか小児科患者は減少し、小児医療を学べる機会も減少している。看護基礎教育では小児・母性看護学の臨地実習内容が緩和される事態となっている。小児専門病院として臨地実習受入れは、小児医療を担う次世代育成に繋がり、当院の使命と考えている。

一方、安全の確保及び感染防止対策として2025年度より、1病棟実習人数を6名とした。実習期間である5月~2月は毎日実習受入れをしており、現状は飽和状態となっている。

2020年度はCOVID-19流行に伴い医学生の受入れがなかった。また、学校の方針で実習期間が短縮された例もあった。

60年のあゆみ

- 2026年10月 創立60周年
- 2023年4月 産後ケア事業(大阪市委託事業)開始
- 2022年7月 大阪府から小児地域医療センターの指定を受ける
- 2021年4月 病院名を「社会医療法人真美会 大阪旭こども病院」に改称
- 2021年2月 旭区役所、旭区社会福祉協議会と子育て地域包括連携協定を締結
- 2016年10月 創立50周年
- 2009年1月 社会医療法人真美会認可
- 2002年12月 特別医療法人真美会認可
- 2002年1月 開放型病院認可
- 1999年7月 病児保育事業が大阪市民生局からの依託事業となる
- 1994年3月 病児保育事業開始
- 1977年1月 医療法人真美会設立
- 1966年10月1日 中野こども病院開設



◆大阪メトロ今里筋線「新森古市」下車②出口徒歩3分
◆京阪電車「森小路」下車徒歩13分
◆阪神高速「森小路出口」を左折、内環状線「緑1丁目」を左折、北進すぐの陸橋左折すぐ

社会医療法人 真美会
大阪旭(あさひ)こども病院
大阪市旭区新森4丁目13番17号
TEL.06-6952-4771 FAX.06-6954-8621
https://nakano-kodomo.or.jp